



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2016年9月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもちました方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



先月に続き、次々に台風が列島を襲う災害の9月となりました。

被害に会われた方には、心よりお見舞い申し上げます。

そんな気候の中でも、今年も“どんぐり”はきちんと実ってくれました。

(福井県大野市「前坂キャンプ場」にて)

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動ネットワーク園シールが完成しました。
2. 「みどりとふれあうフェスティバル2016」イベントレポート
3. JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート
4. 事務局からのお知らせ

●新・どんぐり博士の育苗講座 (2016年9月号)

■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。

しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク(「子森ネット」)

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟

(公社) 大谷保育協会

(公社) 国土緑化推進機構

NPO法人C・C・C富良野自然塾

(一社) 日本森林インストラクター協会

NPO法人自然体験活動推進協議会

NPO法人MORIMORI ネットワーク

(一社) 日本オート・キャンプ協会

(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部

保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動ネットワーク園シールが完成しました。



(サイズB5)

かねてより参加園の皆さんからご要請のあった、JP子どもの森づくり運動の「ネットワーク園シール」が完成しましたのでお送りします。JP子どもの森づくり運動は、“どんぐり”を育てる活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」を育むための自然体験と「環境心」を育むための環境学習の場を継続的に提供する活動です。今回お届けしたシールは、そんな参加園の皆さんのすぐれた取り組みを、子どもたちや職員だけでなく、お迎えなどで訪れる保護者や地域の方にもお知らせし、園の活動に理解と共感を得ることを目的にお届けしました。さらに、ネットワーク園相互が災害時に助け合う防災ネットワークの目印でもあります。よろしければ、園の一面に掲示してご利用いただければ幸いです。

2. 「みどりとふれあうフェスティバル2016」イベントレポート



2016年5月14日（土）に、東京都「日比谷公園」にて開催された、第26回緑の感謝祭「みどりとふれあうフェスティバル」のステージイベントに参加しました。同イベントは、緑についての理解と関心を高めてもらうことを目的とする「緑の月間」の締めくくりとして毎年開催されます。

会場のイベントステージでは、チェンソーカービングの世界チャンピオンであり、JP子どもの森づくり運動のスペシャルサポーターである栗田宏武さんによる、森の守り神のフクロウを作るチェンソーカービングのデモンストレーションを実施していただきました。

栗田さんの素晴らしいデモンストレーションのおかげで、客席は満杯です。そんなひとたちを対象に、カービングの前後で、子森ネットの清水代表理事と二人で活動を紹介するトークショーも開催しました。

ところで、カービングショーのときは、ショーが盛り上がるロックなBGMを使用するのが通常ですが、今回は栗田さんをお願いして「東北復興グリーンウェイ」のキャンペーンソング「♪どんぐりえがお」を使用していただきました。いつもとちがう、明るくやわらかな音楽が不思議とマッチするとても素晴らしいデモンストレーションとなりました。



3. JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」活動レポート

● 広島県「山本まごころ保育園」 東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2016年5月18日（水）・場所：自園 ・日本郵政グループ：山本郵便局 堀元正治局長

* 保育士による人形劇があり、最後に「♪どんぐりえがお」を踊りました。



● 東京都「春明保育園」 東北復興グリーンウェイブ「苗木を見送る会」

・日時：2016年5月10日（火）・場所：自園 ・日本郵政グループ：豪徳寺駅前郵便局 山本学局長

* どんぐりの苗木が東北に里帰ります。と題して見送る会を行いました。



4. 事務局からのお知らせ

<「東北復興グリーンウェイブ」キャンペーンソング「♪どんぐりえがお」ビデオダンスコンテスト作品募集開始>



全国の保育園・幼稚園・こども園の子どもたちに、“どんぐり”と“えがお”の絆でつながろう！と呼びかける「東北復興グリーンウェイブ」キャンペーンソング「♪どんぐりえがお」のビデオ映像によるダンスコンテストを開催します。優秀作品は、「エコプロ2016」のイベント会場にてご紹介させていただきます。ふるってご応募下さい。

<コンテスト開催概要>

- 1. 主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
 - 2. 協力：全国私立保育園連盟、大谷保育協会、保育環境研究所「ギビングツリー」キッズステーション、他
 - 3. 特別協賛：日本郵政グループ
 - 4. 実施日
 - 1) ビデオ映像募集期間：2016年10月～11月21日（月）
 - 2) 審査結果発表会イベント実施日：2016年12月10日（土）10:30～11:45
 - 5. 審査結果発表会会場
 - 東京都江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト「エコプロダクツ2016」イベントステージ
- *お申込み、お問合せ、詳細は、別紙募集チラシをご参照願います。

●新・どんぐり博士の育苗講座(2016年9月号)～育苗も夏から秋に衣替えです。～
 先月号では猛暑を心配しておりましたが、繰り返す台風と秋雨前線の雨により、列島はすっかり冷まされました。しかし天候は相変わらず極端で、多くの地域で災害が発生しています。今後も注意が必要です。重ねて被災地域の方々にお見舞い申し上げます。
 どんぐり博士:河内和男(「子森ネット」森林インストラクター)



秋分も過ぎ、秋を感じる日が増えてきました。西日本では残暑のぶり返しがまだあるでしょうが、育苗では夏の対応から、秋にあわせた管理に変える時期です。特に猛暑にしっかりと対応して、遮光ネットでカバーしたり、大きな樹の木陰に苗を置いていた場合は、ネットを外したり、日当たりの良い場所への移動を行ってください。

夏場の強い日差しは、小さい苗には負担が大きく、特に東北復興グリーンウェイブ用の苗は暑さに弱いので、西日本の園には猛暑対策として、上記のような対策を先月お進めしたばかりでした。しかし、日光は植物の生長に欠かせないものですから、気温が下がりだして、植物への負担が小さくなり始めたこの時期から、積極的に日光を当ててください。まだ気温の高めの西日本では、それが苗の生長につながります。また、厳しい冬を控えている北日本では、苗の上部にカバーが無いような日当たりの良い場所ですと、朝の放射冷却でしっかり気温が下がります。朝と日中の気温差が大きくなることで、苗は冬支度をはじめ、厳しい冬に対応できるようになります。

今年の秋は、雨が多く日差しが少ない傾向にあります。ですので、例年以上に日に当てることを心がけてください。根回りの水分が多すぎて、根腐れを起こす心配は秋でも同じようにあります。苗が葉を落とし冬の休眠に入るまで、もう少し苗を見守ってください。